

何でも読もう会

書物名	『愛撫』 庄野潤三	開催 日時	2022.9.6	推薦	
巻・章	全編		Zoom	出席者	8名
<p>舞台は終戦前後の大坂。主な登場人物は夫、妻、バイオリン教師の3人だけ。</p> <p>夫：3流書店の社員、詩人志望。ぐうたら。</p> <p>妻：良家の令嬢。女学校を出てまもなく夫と見合い結婚。夫にベタ惚れ。</p> <p>女学生時代にバイオリン教師につく。結婚して3年。</p> <p>教師：自宅でバイオリンを教えている。妻あり。</p> <p>妻はおっとりしている。女学生時代の「S」（女性同士の親しい関係）とのある夜のちょっとした出来事の模様を、夫は毎夜根掘り葉掘り聞いてくる。</p> <p>教師は指導中、何食わぬ感じで手に触ってくる。</p> <p>夫はこのことも妻から聞いてまたまた毎夜聞いてくる。</p> <p>それにいちいち応える妻。</p> <p>男性作家が女性の立場から書いた小説。この小説の味わい方が難しかった。</p> <p>女性メンバーには概ね高い評価。内容は兎も角、構成と文の運び方が良いとの声やこれも一種の夫婦愛の表現など。</p>					